



ペットと暮らす家



完成見学会

9/27(土)

28(日)

開催時間 am 10:00 ~ pm 5:00



にゃんだ？この家♡



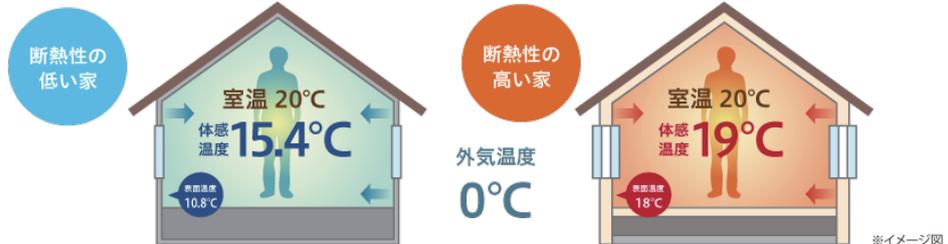
これからは省エネ住宅しか建てられなくなる？

外張り断熱の家で厳しくなる法律に対応した住宅を

省エネ住宅のメリット

1. 家の中の温度差が少ない。

断熱性の低い家では暖かくするためには、より多くの暖房が使う必要になります。



2. 冷暖房費があまりかからない。

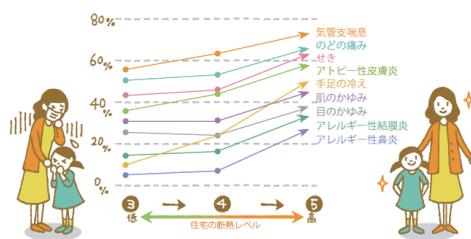
■省エネ等級1の住宅と次世代省エネ住宅の年間光熱費の比較 ※東京での比較



30年間で230万円オトク!!

3. 健康に良い。

改善率 = $\frac{\text{新しい住まいで症状が出なくなった人数}}{\text{以前の住まいで症状が出ていた人数}}$



気管支ぜんそく、アトピー性皮膚炎、関節炎、アレルギー性鼻炎など15の諸症状について、引っ越し後の変化を尋ねたこの調査では、大半の症状に明らかな改善が見られます。特に省エネ等級4以上など、より断熱性の高い住宅へ引っ越しした人ほど改善率が高くなっています。

4. その他のメリット

1. 空気がきれい

気密性が高いのが省エネ住宅の特徴のひとつですが、そのままでは家の中の汚れた空気が外に出て行かず、よどんでしまうという可能性があります。現在の省エネ住宅では、室内の空気の汚れを効率よく排出する計画換気システムが採用されていますので、いつでも空気がきれいであるというメリットがあります。

2. 遮音性が高い

省エネ住宅では、家全体の気密性が高いので、外からの騒音を低減します。また、家の中の音も外へ漏れにくくなっており、優れた遮音性が特徴となっています。

3. 耐久性が高い

高气密、高断熱のため、結露が発生しにくく、構造部材の腐食も抑えられるため、家全体の耐久性が高いのが、省エネ住宅のメリットのひとつです。また、耐震性、耐風性も高く、地震や台風にも強いので安心して長く暮らすことができます。

LCCM 住宅

今後のネストが目指す家

2050年

2030年以降
ZEHを新築住宅平均で実現
更に基準が厳しくなる？

2030年

2020年以降
次世代省エネ基準義務化
新基準でないと**新築不可**

-25%

2020年 ネストの家

2015年4月1日～
次世代省エネ基準義務化
に向けた準備。

- ・省エネ住宅性能評価基準改定
- ・フラット35評価基準改定

2015年

2014年

2013年

省エネ法改正
(次世代省エネ基準)

1990年基準年
CO₂排出量